

国際ロータリー第 2840 地区 [群馬] 2022-2023 年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Rotary club presidents and secretaries

2023.6

Vol.12



みんなのロータリー、みんなでロータリー、
さあ！奉仕に出かけよう

It's our Rotary, Make action together, Let's serve others.

Rotary



2022～2023年度の国際ロータリー
RI会長 テーマとロゴ



イマジン ロータリー

2022～2023年度の第2840地区
地区ガバナー スローガンとロゴ



みんなのロータリー、みんなでロータリー、さあ！奉仕に出かけよう

It's our Rotary, Make action together, Let's serve others.



メッセージ

- 2 ガバナーメッセージ
- 3 ローターアクトクラブ (RAC) についてのレポート
- 11 ガバナースタッフより挨拶

各種報告

- 14 新規米山記念奨学生セカウンセラー・セミナー
- 15 新規米山記念奨学生カウンセラー・オリエンテーション
- 16 地区補助金最終審査会

お知らせ

- 18 ローターリー文庫の事務所移転と電子図書館開設のお知らせ
- 19 2022-2023年度 地区主要行事予定表
- 20 2023-2024年度 上期主要行事予定 (案)
- 22 2022-2023年度 周年行事予定クラブ・IM開催予定表
- 23 2023年4月各クラブ理事会・例会開催状況
- 24 ローターリーコーディネーターNEWS
- 27 出席報告・MyRotary登録率
- 29 新会員紹介
- 31 新会員 入会実績報告 (4月末現在)

ガバナーコラム

- 32 短評
- 33 編集後記・ガバナー事務所よりお願い



国際ロータリー第2840地区
2022-2023年度
ガバナー 中野正美

私のガバナーメッセージも残すところ今月号のみとなりました。一年間、拙文をお読みいただき誠にありがとうございました。

月信5月号の長野県山之内町の野猿公苑のサルの話には続きがあります。温泉に入るサルですが、サルは本来、濡れるのを嫌がるとのこと。しかし徐々に若いサルとメスのサルが入るようになった（メスのサルは身体を温めるのが目的らしい）けれど、オスは未だ温泉には入らないそうです。

6月は「ロータリー親睦活動月間」です。どうして6月なのでしょう？

7月の新年度になって会員同士の結びつきをさらに強固にするためにも、新会長の下、新しい執行部内の結びつきや新会員に対してのフォローの意味からも7月がふさわしいのではとも思いますが…、しかし改めてみるとただの「親睦活動」月間ではなく、「ロータリー親睦活動」月間なのです。ロータリー親睦活動(Rotary Fellowships)はRIの国際奉仕部門における常設プログラムです(ロータリー章典42.010.)。国際奉仕というと、人道的ボランティア活動や国際的支援を思いがちですが、国際奉仕は【ロータリーの目的】に「奉仕の理念で結ばれた 職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」とあります。また例年開催される国際大会の目的は「国際レベルにおいて全ロータリアンを刺激、鼓舞、激励し、かつ情報を与えること、ならびに組織の戦略目標を進展させるためのフォーラムとして機能することである」(ロータリー章典57.010.)。RIの国際大会は、理事会の決定する時と場所において、会計年度の最後の3か月中に開催されるものとする。6月は例年国際大会が開かれ、全世界のロータリアンが一堂に会する唯一の機会なので国際親善と親睦を深める絶好の機会だから6月が「ロータリー親睦活動(Rotary Fellowships)」月間なのでしょう。

「ロータリー親睦活動(Rotary Fellowships)」の「Fellowship」ですが、5つの中核的価値観の一つでもあります。辞書で見えますとFellowshipは「同じ価値観を持つ仲間であること。仲間意識。連帯感。利害などを共にすること。共通の信念や活動する人々の連合、共同、協力、親交、親睦団体」とあります。

先日の地区研修・協議会で基調講演をされた関場慶博パストガバナーは、ロータリーの基本は「親睦」Fellowshipと「奉仕」Serviceで、それに「感動」が加わると、ロータリーはさらに素晴らしいもの、忘れられないものになると述べられました。これからはいろいろな事に感動できる感受性や精神を持ち続けながらロータリー活動を続けていけたらと改めて思います。

ローターアクトクラブ(RAC)についてのレポート



国際ロータリー第2840地区
2022-2023年度
パストガバナー 田中久夫 (高崎RC)

ローターアクトクラブ (RAC) に関するレポートを纏めてみました。当地区の皆さんの参考になれば幸いです。

I RACの現状 (2022.07.03現在)

- 1 世界のRAC 180ヶ国・11,355クラブ・209,374人
- 2 日本のRAC 299クラブ・2,606人 (会員数では世界第15位 占有率 1.24%)
アメリカのRAC 627クラブ・6,455人 (世界第6位 占有率 3.06%)
インドのRAC 2,889クラブ・91,458人 (世界第1位 占有率43.68%)
- 3 アジア地域の占める割合 約65% (135,176人/209,374人)
北米地域の占める割合 約 5% (10,280人/209,374人)

II RACの変化に関するRIにおける経緯

- 2019.04 規定審議会 (修正動議) RACのRI加盟が承認
2019.10 RC定款の変更 (2020.07より有効) 年齢制限廃止など
2020.01 RI理事会 アクターの人頭分担金8ドル決定 (学生基盤のRAC 5ドル)
(RCは72ドル)
2020.06 G補助金プロジェクトへの参加が可能に
2021.11 RI理事会 アクターのロータリーへの完全一体化を進めることが決まる
2022.01 地区補助金申請に際しRACの参加を含めることが可能に
2022.04 規定審議会 アクターをRI委員会委員に指名できる (RI細則)
アクターがRCの例会に出席できること (同)
RACの年齢制限を設ける制定案は否決された
など

III 日本RACの現状分析の素材

2022.08.07 [2022-2023全国RAC合同会議] (事前アンケート: 回答18地区)

- 1 地区ガバナーと地区RA代表間における意見交換はあるか

あり44%

なし56%

* RCと地区内RACとの意思疎通が不足している

⇒ 相互の情報交換の機会が必要

2 活動費は自立化しているか



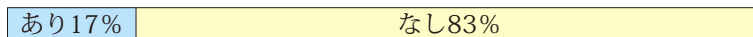
- * RACの経済的自立が未熟である
- ⇒ RACの自立とRCからの補助を考える機会が必要

3 RACはグローバル補助金を知っているか



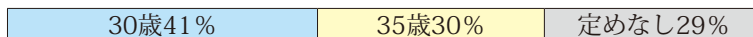
- * RACはG補助金に参加できることの認識が不足している
- ⇒ RCから働きかけ、RACを巻き込むことが必要

4 地区内RACでグローバル補助金を申請したクラブはあるか



- * G補助金の認識はあってもそれを活用する意思が欠如している
- ⇒ RACの機動力発揮に期待したい

5 年齢制限を何歳と定めているか



- * RACの年齢制限は撤廃されている。卒会后RCに進む意識・意欲が不足している（RCでは若手の入会に苦労している。RAC卒会者のロータリー知識や期待に不足・不満があるのか）
- ⇒ 年齢制限を撤廃し、RCに進むキッカケ作りが必要

6 会員増強やクラブ運営について地区内RAC相互でノウハウを共有する機会はあるか



- * 地区内のRAC相互の情報交換が不足している
- ⇒ RAC相互の情報交換や共同事業の機会を作ることが必要

IV 課題と思われる諸点とその解決策について

【大テーマ】 RCとの連携・RACの自立・RCの会員基盤強化の礎（裾野の拡大）

1 「RCとRACとの連携」を今後どのように図っていくべきか？

① RACの機動力（若さ）への期待

RCとRACは、RI加盟クラブとして同じ立ち位置となったものの、RACはスポンサークラブからの経済的援助を受けているという構図は以前と変わらない。ただし、奉仕活動においてはRACの機動力や地域コミュニティへのインパクトを生かしてロータリー全体の活動をより活発にすることは可能だろう。

② RCからの連携の必要性

連携という点においては、国際大会では毎年度ローターアクト部門があるが、日本の場合は地区によってRCとRACが共同で行う会議や活動がないところもある。今後、地区大会や研修会にローターアクト部門をつくることも連携を図るうえで大切になるだろう。

③ RCからの会員基盤強化の期待

ロータリーの会員増強の側面においても、アクターたちは将来的にはロータリアンになる？という点においてはRACに期待したい。常にRCの会員増強の議論のなかにRACを参加させて、その成長を促すことも必要だと思われる。

2 「RACの自立」について、RCとRACはどのように関わっていくべきか？

① RAC自立への道筋とRCによる指導

RACには、「経済的自立」と「運営体制の自立」の必要性がある。現状は、RACの活動予算はスポンサークラブからの支援金に頼っているクラブが多く、RAC独自の募金活動やチャリティイベント、RC以外（官公庁など）の補助金を活用した活動は非常に少ない。このような状況から徐々に自立を促すには、RCの戦略計画委員会のように「3ヵ年計画」を作成し、計画的にスポンサークラブからの支援金を逡減していき、自立的な予算編成が組めるように指導する必要がある。

② RCからの共同事業への勧誘

一方で、奉仕活動やクラブ運営に関しては、RCからRACにこれまで以上に積極的に接触して共同事業を増やすことが必要だと思われる。RCの奉仕活動や運営体制を身近にみることはRACにとって勉強となり、一緒に活動することで自立的活動の参考になるのではないだろうか。

【小テーマ】

1 RACが対応すべき課題：RAC自立に対する覚悟と準備

① RI人頭分担金：RI人頭分担金をRAC会員個人で支払うことになる負担

RACのクラブ基盤には「大学基盤」と「社会人基盤」の2分類があり、大学基盤に所属する会員はローターアクト活動に経済的な負担をかけることができない（RIではこの点を考慮して人頭分担金を学生は5ドル、社会人は8ドルとしている）。

日本のRACの会員にとっては、会員個人で支払う額としてそれほど負担にならないと考えられるが、やはり増額への理解を得るためには早い段階からコンセンサスをとる必要があるだろう。例えば、RACの会長・幹事向けに人頭分担金や地区分担金の説明会をおこない、各クラブ会員に周知させて会費に上乘せするなどの対応が必要になるだろう。

② 地区分担金：地区分担金をRAC会員個人で支払うことになる負担

地区に所属する以上は、地区予算の一端を担い（義務）、その恩恵を受けるため（権利）、RACも地区分担金を支払う必要がある。仮に地区への分担金をRAC会員個人が支払うことになれば、個人負担のイメージとして「RI人頭分担金」＋「地区RC分担金」となる。RACがそれを受け入れられるかどうかは金額の設定（多寡）によるところが大きいが、現在、ある地区（2750地区）では、RACは地区RCではなく地区RACに対してクラブ単位で地区分担金5万円を支払っている。この地区分担金は、地区RACが主催する活動（年次大会、指導者講習会、アクトの日など）に使用されていると聞く。

③ 地区ロータリー事業：地区大会、地区セミナー、地区委員選出に関しての地区との話し合い・取り決め

地区ロータリー事業について、RCとRACの情報共有不足でRACにはほとんど情報提供がないのが現状だと思われる。情報共有の手段としては、地区ローターアクト委員会が地区RCとRACとのハブとなり、RIや地区の情報を常に共有する方法が必要である。

例えば、

- i RACの各クラブから少なくとも一名は地区委員へ出向し、RCと活動を共にする
 - ii 地区RCのPETS（や地区会議）の参加者に、RACの会長エレクトを加える
- などだ。

これらについて積極的に地区RACから地区RCに働きかけ、RC行事のスケジュールを通知し、各クラブの会長・幹事を通じて会員に周知させることが必要だろう。

④ 地区RAC事業：地区RAC事業に関して、地区やスポンサークラブからの経済的支援の話し合い・取り決め

ある地区（2750地区）では、地区RACの年間事業に関する収入には、

- i 地区内RACが支払う地区分担金（年間5万円×各クラブ）収入（計約75万円）
- ii RCの地区ローターアクト委員会予算（70～100万円）

の2つがある。RACとRCからバランスよく収入を得ているように見えるものの、iの地区分担金についてはほとんどがスポンサークラブからの支援金から捻出されているのが実情である。つまり地区RACの予算はそのほとんどがRCからの収入となっている。

この実情から、RACの会費収入や事業収入は必ずスポンサークラブへ報告させ、ある程度の使途をRACとスポンサークラブ、地区RACと地区RCで話し合う必要がある。特に、定期的な決算報告はRACとRCの関係強化につながるため、積極的に取り入れるべきものとする。

⑤ スポンサークラブ（顧問・アドバイザー）：スポンサークラブとの連携・協力の内容に関する話し合い・取り決め

スポンサークラブとの連携や協力については、RACからRCへ働き掛けることは心情的にハードルが高いように思われる。RACは積極的にスポンサークラブの例会に参加すべきであるが、平日昼間の例会に参加できる20～30代はほとんどいない。夜間例会においても、年に2、3回出席する程度では連携や協力ができるほどの話し合いはできないものと思われる。

ある地区（2750地区）では、新年度が始まる前に地区RAC主催で「指導者講習会」というPETSのような研修を開催している。その中でスポンサークラブと次期RAC会長・幹事との話し合いの時間を設けることができれば相互の連携や協力体制構築に効果的ではないかと思われる。

⑥ クラブ細則：RAC定款細則を理解し、自クラブのRAC細則を作成すること

RACで会員に対して定款細則を理解させるには、それについて熟知している指導者が必要となる。しかし、クラブによっては会員のほとんどが入会して間もない（もしくは経験のある会員が卒会している）ため指導者たる人材がないという状況がある。そのため、定款細則については地区RACが主催をする勉強会を開催する必要がある。少なくとも、会長・幹事エレクトには定款細則についての説明をおこない、クラブ内で細則を見直す機会を作るよう指導を行うべきだろう。

現在ではRACの年齢制限が撤廃されたことで、クラブによって卒会年齢の引き上げをおこなうクラブや現状維持をしているクラブなどその対応が分かれているが、多くのクラブでまだ細則の修正などは実行されていない現状がある。まずは議論の場を設けて、期日を決めてすべてのRACでクラブ細則の更新をする必要があるだろう。

⑦ 記録と保管：年度計画、年度報告を作成し、記録として保管すること

RACでは、RCと違い「事務局」機能がないため、あらゆる情報が会長・幹事などの属人に集中されている。そのため、その年度の会長・幹事が抱える情報や記録が、次期会長・幹事へ十分に引継がれないまま各年度が経過することがある。

これを改善するには、

- i スポンサークラブであるRCがいかに日常的にRACと接して、年次報告（奉仕活動など）や決算状況などを把握しておくこと
- ii クラウドなどのサービスを利用した情報の蓄積についてマニュアル化しておくことが必要になる。

RCでは、支援するRACへ「運営マニュアル」の作成を促し指導して、会長・幹事はそのマニュアルに沿って活動報告や各年度数回の中間決算を行って、クラブ内のRA委員会、RA顧問、事務局がこれらの情報を共有・継承する必要がある。

⑧ 会費：自クラブの年間行事に見合った年会費の設定と管理

RACは学生基盤と社会人基盤に分かれるため、年会費の設定はクラブによって様々であり、学生基盤は安めに（500円／月）、社会人基盤は高めに（1,000～3,000円／月）設定しているクラブが多い。これは、年間行事に見合った会費設定というよりは会員個人の経済的事情に合わせて調整されているからだ。結果的に会費収入はクラブ運営に使用され、奉仕活動をおこなう際はスポンサークラブの支援金に頼るという構図が大半である。

今後、会費の管理についてはこれまでの入会金や年会費に加えて、RI人頭分担金、地区分担金などが加わるためその管理が重要になってくる。そのため、会計管理についてRCからRACへ指導する機会を設けることが必要になるだろう。

⑨ 例会：例会の目的と質確保についての話し合い・コンセンサス

例会においては、形式的にはRCに準じているもののロータリーに関する理解が十分でないために「目的」(何のために)が曖昧になっているRACが多い。これを改善するには、RACにロータリーについての理解を深めてもらう研修会を開催することやスポンサークラブからの指導などが必要となろう。ローターアクト・ハンドブックでは、RACの例会には、スポンサークラブの会員の出席が推奨されており積極的な協力や指導が求められているため、できる限りRACの活動時間帯にスポンサークラブが調整をおこなって話し合いをすることが重要だと思われる。

⑩ 研修：ロータリー研修の方法と質確保についての話し合い・コンセンサス

RACではRLIのようなロータリー研修がない。前述のように活動に目的や意義を意識させるためにもロータリーに関する理解が必要だと思う。例えば、地区RCと地区RACが共同して、平日の活動が難しいRACに向けて土・日にロータリー研修を開催しロータリーに関する理解を深めてもらうなど、RACの会長・幹事のみならず、一般の会員にもロータリーについての勉強会の機会を提供することが必要である。

⑪ 奉仕事業：予算規模に見合った奉仕事業についての話し合い・コンセンサス

RACには、RC同様に「国際奉仕」、「社会奉仕」、「クラブ奉仕」などの委員会があるが、RCと違い奉仕活動に割り当てられる予算規模は小さく、募金活動やフリーマーケットなどを実施して活動資金を集めているクラブもある。

RAC独自で奉仕活動をおこなうことは、自立性やリーダーシップを磨くという意味において重要なことであるが、一部の奉仕活動ではスポンサークラブと共同でおこなうことも必要になると思う。RCの青少年奉仕委員会やローターアクト委員会のみがRACとコミュニケーションを取るのではなく、社会奉仕委員会や国際奉仕委員会もRACの各委員会と話し合いをおこない、相互に協力できる点について話し合う機会を設けることも必要であろう。

⑫ 「ロータリーの友」誌：「ロータリーの友」誌購読についての話し合い・取り決め

ロータリー研究会（2022.11.19-22）でのRACメンバーによるパネリストのコメントにもあったが、RACでは「ロータリーの友」の存在を知らない会員が相当数いる。「機関雑誌の購読」はRCの3つの義務に含まれており、RIに加盟したRACも今後はこの義務を負うものとする。RACの低予算を考慮すれば、会員個人が購入をするのではなく、

クラブ単位で一定数の購入を推奨し、各会員には例会などで回覧してもらうなどの便法もあると思う。

2 RCが対応すべき課題： RAC自立に伴う関係性の検討

① 地区分担金：RAC会員個人が支払う地区分担金の設定

RACはおそらくどの地区でも地区RACへの分担金をクラブ単位で支払っているため、今後地区RCへの地区分担金を設定する場合は地区RACの分担金との調整や話し合いが必要となる。また現在は地区RACへの支払いがクラブ単位となっているため、RAC会員個人が支払う地区RC分担金については、人頭分担金と同様に会員個人の会費への上乗せを行う必要が生じる。この点は、RAC会員にとってどの程度の負担になるかをヒアリングして金額設定を考える必要があるだろう。

② 地区ロータリー事業：地区大会、地区セミナー、地区委員選出に関する話し合い・取り決め

地区ロータリー行事への参加において、よくRACから聞くことは「ほとんどの行事や会議が平日のため時間帯が合わない」という点だ。基本的には、各行事や委員会においてRAC参加の対応を考えるということが望まれるが、RACが参加できるような時間帯や形式（ハイブリッドなど）を工夫することも必要だ。

地区委員選出についても、スポンサークラブが知らないところでRACの会員が地区の委員に決定しているなどのクレームが出ることがあると聞く。こちらも選出方法や出向依頼の手続きを明文化してルールを設けなければならないだろう。

③ 地区RAC事業：地区RAC事業に関して、地区やスポンサークラブからの経済的支援の話し合い・取り決め

ある地区では、前述「1 RACが対応すべき課題」の④のように地区RCやスポンサークラブが地区RAC事業への経済的支援をおこなっているケースがある。今後対応すべきこととしては、予算や決算についてRACから定期的な報告をおこない、ルールや取り決めを作ることだと思う。

④ スポンサークラブ：スポンサークラブとの連携・協力に関する話し合い・取り決め

RACのスポンサークラブとの連携や協力についても、まずはRCのローターアクト委員会、青少年奉仕委員会がRACと定期的な話し合いの場を設けて、その内容をもとに「運営マニュアル」など取り決めを作成することが必要だ。おそらくRACのスポンサークラブをしているRCでは、多くの場合、RACからの報告がないことで実情を把握できていないのではないかと。RACからの報告を待つのではなく、ルールを作成して定期的な活動報告やコミュニケーションを習慣とすることが大切になる。

⑤ クラブ管理支援：RAC細則の作成、各年度の記録保管、例会内容、ロータリー研修などへの支援

RACでは定款や細則についてクラブ内での話し合いがおこなわれていないクラブが多い。スポンサークラブからRACにクラブ細則の作成と提出を促して、場合によっては話し合いの場に立ち合って指導することも良いだろう。

各年度の記録保管についてもRACへ一任するのではなく、スポンサークラブの事務局での保管をおこなうことが重要だ。そうすれば、スポンサークラブへ必ず報告することが習慣化し、定期的なコミュニケーションをとることが可能となる。

ロータリー研修については、RACから積極的に参加してもらえるような工夫が必要だ

ろう。ただ、ロータリー研修の多くがホテルでの開催費用や懇親会などの参加費用などが掛かることがネックになる。研修の企画の段階からRACが参加することを見越して、日程や参加費用の調整をすればRACからの参加者も増えるのではないだろうか。

V RCとRAC間に望まれるアプローチ（まとめ）

RCから		RACから
【現状】		【現状】
RACの地位向上に期待するものの、その経済的支援の継続やRAC卒会後のRCへの加入が少ないことに不満を感じている		RACの地位向上は歓迎しつつも、あまりにも急激な変化や会費の増額予測に戸惑いや不安を感じている
【RACに期待すること】		【RCに期待すること】
・早期の経済的自立	→	・RCからの連携の働きかけ
・機動力（若さ）		・共同奉仕活動への勧誘
・地域社会へ与えるインパクト		・RCからの大会等スケジュールの情報提供
・若者の活動と公共イメージ向上	←	・RCの例会出席
・RAC卒会後のRCへの入会		・RCによる各種の指導
・RACからの活動報告		・仕事による時間的制約への配慮・理解
・RACからの決算関係報告		・地区委員会への人材輩出
【解決策】		
<ul style="list-style-type: none"> ・相互間の情報交換の機会をタイムリー（定期的？）に設けること ・共同の奉仕活動（G補助金・地区補助金事業等含む）の実施を促進すること ・RCによる各種の指導（ロータリーの理解を深める）を行うこと 		

VI RACの活性化の案

【前提】

- ・若い人の特徴⇒SNSの活用・コロナ禍・独り時間の尊重・ボランティア参加の意思あり
- ・提唱RCの意識改革（RIの方針を理解しRACの自立に向けて行動する）が必要
- ・ロータリアン側がRACをどうしたらよいかと悩むこと自体、少し週保護との意見あり
- ・RI方針をRACは自立するチャンスと前向きに考えて行動すべき

【いま出来ること】

1 「人に頼ること」：強力なリーダーの育成もしくは発掘

RACは運営体制の基盤が弱いため、クラブや地区単位においてもリーダー（属人：会長や代表）の能力や積極性によって活発さが大きく変わる。強力なリーダーの育成をおこなうか、他のコミュニティから人材を発掘してスカウトすることがRACの活性化に直結するのではないだろうか。

2 「人がいなければ、仕組みに頼ること」：運営体制のマニュアルづくり

組織を引っ張れるようなリーダーが不在の場合（人に頼れない場合）には、RCがRACを指導する必要がある。現在、ほとんどのRCではRACへの助言のみに留まっていると思われる。具体的なRACの運営マニュアルをスポンサーRCが作成して、決められた手順に従って活動や運営をおこなうことができれば、いまよりはRACの活性化に繋がるのではないだろうか。

【RAC活性化の具体的提案】

案1 「大学基盤」のRACの設立を促進する：大学単位・ゼミ単位のRACの設立

- ① ロータリアン（大学経営者・教授）へのアプローチ
- ② 高校時代にIAであった学生へのアプローチ
- ③ 就職活動との連携：ロータリアン経営の会社による大学における「会社説明会」の開催・参加
- ④ 米山奨学生、同学友会、ROTEX、RYLA参加者などによるRACの設立と世話クラブによる会費支援

案2 行政機関の若手「公務員」のRAC参加を要請する

- ① 首長（ロータリアンであることが多い）への説明・協力依頼、若手職員派遣要請
- ② 教育委員会等の各種団体職員への参加要請

案3 ロータリアン経営会社の社員のRAC参加を要請する

- ① 業種を超えた若手社員交流の実現（金融機関、IT業界、中小企業や行政機関などの相乗りのDX（デジタルトランスフォーメーション）^{*1}化が実現する？）

案4 ロータリアン子弟のRAC参加を要請する

- ① RACのマッチ・メーカー（ブライダル）の役割？に期待
例：2570地区には古くから「ブライダル委員会」という委員会があり、ロータリアンの子弟やロータリアンが経営する会社の優秀な社員を推薦・マッチングして結婚に導くという結婚相談所のような活動をしている。これまでの成果は約10組とのこと。信頼できる仲間からの被推薦者同士であるため安心感があるらしい。

案5 RACではなく、RCの下部組織（RCと共に活動する組織）として再編する

- 例：2650地区 あすかRC（橿原市）とその下部組織「チームあすか」（若手中心組織40～50人在籍）の関係（RCと共に奉仕活動の一翼を担当している存在）

※1 情報技術の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるとの仮説

ガバナースタッフより挨拶



地区幹事（代表） 柳田 秀男

中野ガバナーを支えていただいた皆様へ。

パソコンは苦手、リモート会議は一人では入れない、資料作りは原則手書き、こんな三重苦の私が曲がりなりにも1年間務まりましたのも、ガバナースタッフ並びに事務局員の皆様のお蔭です。会議の設営、資料作り等本当にお世話になりました。

地区役員の皆様には、望んだ以上の成果を上げて頂きありがとうございました。

最後に陰の地区幹事・長島会計長に感謝！



地区会計長・財務委員 長島 章博

地区では二度やった会計長がいない中で、前回の経験により助かった点と、時代の流れで全く違う点、改めてとても良い経験ができました。

各クラブさんのご協力や、地区大会ホストの太田ロータリークラブさんを筆頭に各委員会さんには支出を極力抑えて頂き、大変ありがたかったです。

まだまだ地区大会に向けて決算を仕上げなければなりません、皆様のご協力により無事終わることができそうです。ありがとうございました。



地区副幹事 大塩 孝

筆頭副幹事としての1年が、あっという間に過ぎました。

拘りましたのは月信の表紙写真、編集後記です。少しでも2840地区の会員の皆様に、2840地区に興味を抱いて頂けておりましたら幸いです。

副幹事は3回目となりますが、地区協、地区大会、ガバナー公式訪問等々、新たな気持ちで地区行事に携わる事も出来ました。

何よりガバナー事務所、入山さん、佐藤さんに助けて頂きましたことに感謝申し上げます。



地区副幹事 落合 重男

この度は、中野ガバナースタッフとしての機会を戴き有難うございました。

特に、失敗の許されない地区大会エクスカージョンでは、車窓からの見学でしたが、ガバナー令夫人の皆様よりお気遣いを賜り、何とか乗り切ることが出来ました。そして、公式訪問では、大勢の方にお世話になり、良き経験をさせて頂きました。

振り返ると、感謝の毎日、多くの皆様のご厚情のおかげで、中野ガバナー一年度が無事終了できますことを御礼申し上げます。



地区副幹事 市川 博士

二度目の地区副幹事でしたが、今回はコロナ過で直前まで二段構えのような事業が続きました。参加者の皆様のご理解があってこそその設営、運営でした。一年間お世話になりました。

次年度は太田ロータリークラブ会長として地区にも貢献したいと思います。



地区副幹事 板橋 一博

中野ガバナーのロータリーに対する情熱、柳田地区幹事の、いつの間にかスタッフをまとめる指導力、長島会計長の地区行事を裏で支える統率力に支えられ副幹事の1年が間もなく終わります。

またガバナー事務所事務局のお二人には、日々迅速な業務遂行に対し感謝申し上げます。

何より、昨年まで委員長でありました米山記念奨学委員会に担当副幹事として携わることが出来、貴重な1年でもありました。特に高沢米山記念奨学委員長の委員会と奨学生を愛する気持ちには感動致しました。是非死ぬまで米山に携わって下さい。



地区副幹事 石川 好男

ガバナースタッフを経験して

中野年度副幹事の半数以上が竹内年度で副幹事を経験され、ロータリーへの参加を一番の優先にして奮闘しました。担当が「ガバナー補佐・委員長会議」「ロータリー財団委員会、資金管理・平和フェローシップ委員会、補助金委員会、地区補助金委員会」と、前年まで地区の委員長として参加をして来た委員会だったので会議の内容や委員会の流れも把握しており楽しみながら活動が出来ました。また、「地区戦略計画委員会」や「審議会立法案検討委員会」等の委員会にもピンチヒッターとして参加できる機会を頂き貴重な経験が出来ました。担当の第5分区では、各クラブへガバナーと共に訪問させて頂き「地域の特性」や「地域に根差した素晴らしい事業」を知ることが出来ました。ロータリアンとして自身のロータリーライフのビジョンを描く貴重な経験となりました。



地区副幹事 星野 一俊

足掛け1年半、ガバナースタッフとして働く榮譽を与えて下さり、中野ガバナーには感謝しております。地区協、RI研修セミナーの担当副幹事としてガバナー事務所のお二人、多くのガバナースタッフメンバーには大変お世話になりました。地区協では他クラブをホストクラブ、コホストクラブとして運営する難しさを体験させていただきました。RI研修セミナーでは会場準備から片付け、月信報告まで長丁場でしたが、スタッフメンバーに支えていただきなんとか副幹事の仕事を全うする事が出来ました。

ご指導、ご協力いただいた全ての皆様に感謝いたします。



地区副幹事 竹部 弘昭

1年間大変お世話になりました。

今回が2回目の副幹事をさせて頂きましたが、以前にもまして多くの出会いがあり多くの学ぶ機会に恵まれました事に感謝申し上げます。

今回はクラブの幹事と二足の草鞋で活動させて頂きましたが、代表地区幹事・会計長他の副幹事さんのご協力のもと、両輪での活動をすることが出来ました。

各委員長さんには、担当副幹事として多々至らないところがあったかと思いますがご容赦願います。今後更なる飛躍を目指して活動する所存です。

今後とも宜しくお願い致します。



地区副幹事 小林 禎

昨年の秋口から始まった副幹事活動も来年の準備が沼田RC主導で始まり、そろそろ終了となります。

地区の委員会へ所属したこともなく、地区活動に疎い自分としては、右往左往した一年でしたが、周りのメンバーに助けられて何とか大きなヘマをせずに過ごせました、ありがとうございます。

ガバナーのお供で訪れた他クラブの公式訪問例会では、セレモニーや雰囲気の違いに新鮮な刺激を受けました。また、担当させて頂いた女性ネットワーク委員会と職業奉仕委員会では他クラブのメンバーと一緒に事業を行なう難しさ、楽しさを味わわせて頂きました。大きな経験をさせて頂いたと思っています。中野ガバナーをはじめ、お付き合い頂いたすべてのメンバーに感謝します。



地区副幹事 岡田 敏郎

地区での経験不足とロータリーに関する勉強不足のため、副幹事担当業務を進めることができたのは、事務局の入山さん、佐藤さんのお力添えの賜物です。地区大会でのシナリオや大会当日の運営、月信記事の編集や校正等々のサポートを頂きまして、ありがとうございます。

大変貴重な経験が出来、有意義な1年でもありました。中野ガバナー、柳田地区幹事、長島会計長にも助けて頂き、感謝申し上げます。



地区副幹事 松本 隆

地区大会では担当幹事クラブの太田RCと事前打ち合わせ、リハーサルそして大会当日と大変お世話になりました、緊張感の中、太田RCスタッフと共にシュクシュクと進めることが出来ました。

公式訪問にて、「渋川RC」さんは伝統と格式を感じさせる素晴らしい例会を運営されていてZoomによるリアルタイム中継も行われており、大変勉強になりました。

「草津温泉RC」さんはクラブを大切にされている会長さんの元、家族的な雰囲気でありながら、規律正しく例会を運営されていてこちらも大変感銘を受けました。

ガバナースタッフとして自クラブ内だけでは体験し得ない貴重な経験をさせて頂きました。皆さまお疲れ様でした。



地区副幹事 島田 光貴

ロータリーを無知のまま、中野ガバナーの副幹事を受けさせていただきました。初めは戸惑いや不安もありましたが、微力ながらいくつかの事業の担当をさせていただくことで、多くの気づきやロータリーを改めて学ぶことができました。自分みたいな会員に機会を頂けたことに感謝しております。ロータリーを通し多くの方々と繋がることができ貴重な1年間だったと思います。そして、常にご配慮いただき事務局の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

また、若輩者ながら保坂年度が素晴らしい1年になることを、心より祈念しております。

大変お世話になりました。



地区副幹事 大島 正芳

太田ロータリークラブでは親睦委員会の委員長であり、入会の浅い会員の方々に、副幹事職を通して、地区の情報や楽しさを伝える一年でもありました。

ガバナー公式訪問での他クラブの例会に出席できたことは、単に新鮮な感想を抱いたことだけではなく、自クラブの参考にもなり、貴重な経験となりました。何より中野ガバナーと公式訪問の行き帰りの車中での会話が弾みましたことを思い出します。

2840地区で出向経験がない方は、地区の各委員会に、クラブを通じ、是非とも積極的に御参加下さい。間違いなく思い出多い一年になります。

ありがとうございました。

一年間



事務局 入山こず江 ガバナー 中野正美 事務局 佐藤由紀恵

新規米山記念奨学生カウンセラーセミナー



日 時／2023年4月16日（日） 11：30～12：45

会 場／前橋問屋センター会館 2F 華龍の間

出席者／中野正美ガバナー、竹内正幸パストガバナー、森田高史米山記念奨学会評議員、保坂充勇ガバナーエレクト、関 真一地区幹事、高沢克治米山記念奨学委員長ほか副委員長及び現・新委員会委員、現・新地区副幹事23名、新規米山記念奨学生カウンセラー他20名、合計43名

報告者／米山記念奨学委員 龍見 進（藤岡RC）

今回採用となった米山記念奨学生18名は2023年4月から新しい学年度がスタートしていますが、ロータリークラブでは次年度（2023-2024年度保坂ガバナー年度）における奨学生ということになります。この日のカウンセラーセミナーはその2023-2024年度に米山カウンセラーをお引き受けくださった会員へのセミナーとなります。

セミナーは、現年度の中野正美ガバナー、米山記念奨学会理事の竹内正幸パストガバナーからご挨拶をいただき、スタートしました。

今年度の高沢克治委員長（伊勢崎中央RC）から、米山記念奨学会の成り立ち、全国34地区合同の日本独自の事業であること等の説明とともに、米山記念奨学制度の根幹であり、他の外国人奨学金制度との違いである「世話クラブ制度」と「米山カウンセラー制度」の重要性についてお話をいただきました。

また、カウンセラーとして奨学生への対応、クラブの対応、奨学生の手続きの注意事項が伝えられ、カウンセラーとなられた皆さんは真剣に聞いていらっしゃいました。

そして、中村ひろみ会員（高崎RC）からカウンセラー体験発表があり、カウンセラーをやった良かったという喜びと同時に、奨学生に対してもっと何かしてあげられたのではないかという反省についてお話をいただき、新カウンセラーの方にもその気持ちが伝わったことと思います。最後に質疑応答があり、定刻12時45分に閉会しました。



新規米山記念奨学生・ カウンセラーオリエンテーション



日 時／2023年4月16日（日） 13：30～15：10

会 場／前橋問屋センター会館 2F 華龍の間

出席者／中野正美ガバナー、竹内正幸パストガバナー、森田高史米山記念奨学会評議員、保坂充勇ガバナーエレクト、関 真一地区幹事、高沢克治米山記念奨学委員長ほか副委員長及び現・新委員会委員、現・新地区副幹事23名、新規米山記念奨学生カウンセラー他20名、新規米山奨学生18名 合計61名

報告者／米山記念奨学委員 矢内良春（伊勢崎南RC）

午前中の新規米山記念奨学生カウンセラーセミナーに続き、午後の本オリエンテーションはカウンセラー＋新規米山奨学生18名の参加のもと開催されました。

司会矢内良春の美声で開会となり、中野正美ガバナーの挨拶に続き、米山記念奨学委員会アドバイザーの竹内正幸PGの挨拶を頂きました。その後、高沢克治米山記念奨学委員長から米山奨学生への説明が行われました。内容としては、先ず米山奨学生として一番の基本である、例会出席の義務やロータリー行事への参加などについて心得を説きました。そして米山記念奨学会の歴史やロータリークラブとの関わりについても説明いたしました。それから、実務的な書類作成について、確約書の記入や署名など大切な手続きについて、カウンセラーと確認し合いながら進められました。

休憩を挟み、学友会の案内について周青霞会長から挨拶を頂きました。

そして、新規米山記念奨学生代表として群馬大学大学院、エジプト出身、アブダラ ヤッセバスヨニー アブダラさん（前橋東RC）の挨拶を頂きました。堪能な日本語で将来への熱い想いや、米山奨学生に選ばれた事への感謝などを語っていたのが印象的でした。

最後に米山記念奨学評議員 森田高史PGのすばらしい講評で締めくくりました。

私は18名の新規米山記念奨学生の輝く眼差しを見て「いつか必ず日本との懸け橋になってくれる」と確信いたしました。



地区補助金最終審査会



日 時／2023年5月20日（土） 12：00～17：00

会 場／前橋商工会議所会館

出席者／中野正美ガバナー、今井幸吉ロータリー財団委員長、菊川善明補助金委員長、
福島敬仁資金管理・平和フェロウシップ委員長、
小林匡美地区補助金委員長、岡田敏郎地区補助金副委員長
地区補助金委員会：石井英智委員、草処晋一委員、江畑晴彦委員、加瀬揚彦委員、
唐沢健二委員、松岡将之委員
石川好男地区副幹事、小林洋樹次年度ロータリー財団副委員長、
小熊政則次年度地区副幹事、小倉仁次年度地区副幹事、須田千秋次年度地区副幹事
報告者／地区副幹事 石川好男（太田RC）

開 会	補助金委員会 委員長	菊川 善明
挨拶	第2840地区ガバナー	中野 正美
趣旨説明	ロータリー財団委員会 委員長	今井 幸吉
審査協議		
(1) 2022－2023年度実施事業	地区補助金報告書審査 資金管理・平和フェロウシップ委員会委員長	福島 敬仁
(2) 2023－2024年度実施事業	地区補助金申請書審査 地区補助金委員会 委員長	小林 匡美
(3) 次年度に向けて改善事項等の協議		
	・地区補助金Web申請ページについて ・地区補助金Web報告ページについて ・ロータリー財団ハンドブックについて	
講 評	ロータリー財団委員長	今井 幸吉
閉 会	補助金委員会 委員長	菊川 善明

今年度の最終審査会は、各クラブから大いなる協力を頂いて全事業の報告書と申請書を期限内に提出して頂いたことで、地区補助金の予備審査会に於いて事前の審査協議を行い43の全ての事業報告と43の全ての申請を最終審査会に上程することが出来ました。本年度も3年連続で地区内全クラブから申請を頂き、ローターアクトクラブの申請も出来るようになった初年度の今回は親クラブとの共同申請となり、地区内の全8クラブが親クラブとの合同申請を頂きました。

審査会の事業報告では中野正美ガバナーより各事業に対してとても良い評価を頂き承認をして頂きました。また申請につきましても中野正美ガバナーより一つひとつの事業に対してより効果的な事業展開に向けたご示唆を頂き承認をして頂きました。今回の審査会に於いて全事業の報告と申請を承認して頂いた事により、ロータリー財団へ例年より早く報告書の提出及び次年度事業の申請ができることになりました。これによりロータリー財団から承認時期も早まり各クラブへの地区補助金事業費の振り込みが例年よりも早く出来ると思われます。

注意としてロータリー財団への地区補助金の報告書の提出期限は1年間となっているため、次年度も本年同様に期限内に提出する義務があります。次年度も各クラブの協力を頂いて最終審査会では本年同様に全事業の承認が出来るようにご協力をお願いいたします。

本年度も各クラブをフォローして頂いた地区補助金の分区担当者と各クラブのプロジェクト担当者や尽力いただきましたロータリアンのご協力に感謝申し上げます。



ロータリー文庫の事務所移転と 電子図書館開設のお知らせ



ロータリー文運営委員会
委員長 菅原光志
次年度委員長 茂木 正

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素はロータリー文庫に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ロータリー文庫は、これまで電子図書館を目指して、資料のデジタル化を進めてまいりました。所蔵資料の電子化と資料原本の保存・廃棄の分別を終え、次年度7月1日より事務所を移転縮小し、電子図書館として運営する運びとなりました。尚、貴重資料等保存すべき資料は米山梅吉記念館に寄贈することとなっております。

これまで狩余曲折がありました。ロータリーのアーカイブ部門としての独自の事情と判断から、全国ロータリアンのための①資料利用の便宜の向上②協力金による運営経費の節減を主な目的として、このたび事務所を縮小し電子図書館として生まれ変わった次第です。

2005年7月、ABC会館より黒龍芝公園ビル3階に移転して以来、公益社団法人ロータリー米山記念奨学会、一般社団法人ロータリーの友、ガバナー会、RIJYEMとは、日本のロータリー組織として同じビル内で活動を共にしてまいりました。この間、言葉では表現できないご厚情とご支援・ご協力をいただきました。心から感謝しお礼申し上げます。

新しい移転先は下記の通り、黒龍ビルに近いところになります。これまで通り変わらぬご厚誼を賜りたくお願い申し上げます。

敬具

記

ロータリー文庫 移転先
〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-16
第3小森谷ビル別館階6階

アクセス

JR浜松町駅 南改札口 金杉橋口方面
(世界貿易センタービル南館直結)
第一京浜道路に向かい、左折
第一京浜沿いビル徒歩約4分

大江戸線「大門」 徒歩約4分

三田線「芝公園」 徒歩約8分

※電話・FAX・メール等変更ありません。



2023-2024年度 上期主要行事予定表 (案)



日 付		時間帯	項 目	場 所
2022年9月	1 (木)		保坂ガバナーエレクト事務所開設	
10月	17 (月)	17～	第1回ガバナー補佐会議	田園プラザホテル
11月	15 (火)	19～	第2回ガバナー補佐会議	Zoom
	30 (水)	19～	第3回ガバナー補佐会議	Zoom
12月	11 (日)	13～	第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議	前橋商工会議所会館
	17 (土)	17～	保坂ガバナーエレクト激励会 (中野年度主催)	ロイヤルチェスター前橋
2023年1月	8 (日)～12 (木)		国際協議会 (保坂ガバナーエレクト出席)	オーランド (フロリダ州)
2月	8 (水)	15～	第1回地区研修委員会	前橋問屋センター会館
	18 (土)		第3回ガバナー諮問委員会・GE報告 (中野年度主催)	前橋商工会議所会館
	18 (土)	13～	地区チーム研修セミナー	前橋商工会議所会館
3月	11 (土)	10～	会長エレクト・次年度幹事研修セミナー (PETS・SETS)	前橋商工会議所会館
4月	9 (日)	14～	第2回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館
5月	16 (火)	14:30～	クラブ管理運営セミナー	前橋問屋センター会館
	21 (日)	終日	地区研修・協議会 式典	利根沼田文化会館
	27 (土)～31 (水)		国際大会	メルボルン
6月	17 (土)	午後	第4回ガバナー諮問委員会 (中野年度主催)	ロイヤルチェスター前橋
	17 (土)	午後	現新地区役員合同連絡会議 (中野年度主催)	ロイヤルチェスター前橋
7月	1 (土)		保坂ガバナー事務所開設	
	16 (日)	10:30～	第1回ガバナー諮問委員会	音羽倶楽部
	23 (日)		インターアクト年次大会	ながめ余興場
8月	6 (日)	13～	R L I ディスカッションリーダー研修会	前橋問屋センター会館
	23 (水)	13～	米山指定校説明会	前橋問屋センター会館
	26 (土)		ロータリー野球大会 開会式	前橋桃ノ木川グラウンド
	27 (日)	13:30～	クラブ活性化ワークショップ	前橋商工会議所会館
9月	3 (日)		地区大会記念ゴルフ大会	伊香保国際カンツリークラブ
	10 (日)	午前	第2回ガバナー諮問委員会	前橋商工会議所会館
	10 (日)	午後	第3回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋商工会議所会館

日 付		時間帯	項 目	場 所
	17 (日)	午前	ロータリー財団補助金管理セミナー	前橋商工会議所会館
	23 (土)		ロータリー野球大会 第2日目	前橋桃ノ木川グラウンド
	24 (日)	終日	RLIセミナー Part I	前橋問屋センター会館
	30 (土)		ロータリー野球大会 予備日	前橋桃ノ木川グラウンド
10月	1 (日)	午前	米山記念奨学生カウンセラー研修会	前橋問屋センター会館
	1 (日)	午後	地区米山研修セミナー	前橋問屋センター会館
	15 (日)	終日	RLIセミナー Part II	前橋問屋センター会館
	21 (土)	午後	地区リーダーシップセミナー	ホテルベラヴィータ
	21 (土)	夜	RI会長代理歓迎晩餐会	ホテルベラヴィータ
	22 (日)	終日	地区大会 式典	利根沼田文化会館
	22 (日)	夜	地区大会 懇親会	ホテルベラヴィータ
11月	4 (土)		ロータリー野球大会 閉会式	前橋桃ノ木川グラウンド
	25 (土)		DEIフォーラム	
	26 (日)	終日	RLIセミナー Part III	前橋問屋センター会館
12月	2 (土)	午後	米山記念奨学生選考会面接官オリエンテーション	ホテルメトロポリタン高崎
		夕方	米山学友会忘年会	ホテルメトロポリタン高崎
	9 (土)		森ガバナーエレクト壮行会	ロイヤルチェスター前橋

2022-2023年度 周年行事予定クラブ

	年	月	日	曜日	周年	クラブ名	場 所
※	2023	3	5	日	70	桐生RC	美喜仁桐生文化会館
	2023	4	1	土	60	富岡RC	ホテルアミューズ富岡
※	2023	4	15	土	55	高崎北RC	ホテルグランビュウ高崎
	2023	4	22	土	65	館林RC	ニューミヤコホテル館林
※	2023	5	13	土	20	富岡かぶらRC	ホテルアミューズ富岡
※	2023	5	13	土	40	新田RC	ティアラグリーンパレス
※	2023	5	27	土	45	太田南RC	太田グランドホテル
※	2023	6	11	日	25	碓氷安中RC	並木苑

※桐生RCの周年行事開催日が上記へ変更となりました。

※碓氷安中RCの周年行事開催日が上記へ変更となりました。

※富岡かぶらRCの周年行事開催日が上記の通り決定しました。

※太田南RCの周年行事開催日が上記の通り決定しました。(併せて周年数が訂正となりました)

※高崎北RCの周年行事開催日が上記の通り決定しました。

※新田RCの周年行事開催日が上記の通り決定しました。

2022-2023年度 IM開催予定表

	年	月	日	曜日	分 区	場 所
※	2023	4	23	日 (午後)	第1分区	ロイヤルチェスター前橋
※	2023	2	19	日 (午前)	第2分区A	桐生地域地場産業振興センター
※	2023	3	24	金 (午後)	第2分区B	伊勢崎プリオパレス
※	2023	3	12	日 (午後)	第3分区	ホテルグランビュウ高崎
※	2023	3	3	金 (午後)	第4分区A・B合同	ロイヤルチェスター太田
※	2023	2	26	日 (午後)	第5分区	プレヴェール渋川
※	2023	3	12	日 (午前)	第6分区	みかぼみらい館

※第3分区のIM開催日・会場が上記の通り決定しました。

※第4分区のIM開催日・会場が上記の通り決定しました。

※第6分区のIM開催日・会場が上記の通り決定しました。

※第2分区BのIM開催日・会場が上記の通り決定しました。

※第5分区のIM開催日・会場が上記の通り決定しました。

※第2分区AのIM開催日・会場が上記の通り決定しました。

※第1分区のIM会場が上記の通り決定しました。

2022年4月各クラブ理事会・例会開催状況



クラブ	開催数	開催内容	備考
前橋	4	4/4・11・18・25 例会、4/25 定例理事会	4/4観桜家族会、4/25(5月分)
前橋西	4	4/5・14・21・23 例会、4/14 定例理事会	4/5観桜例会、4/14・21(集会&Zoom)、4/23 IM(集会&Zoom)
前橋東	4	4/6・13・20・24 例会、4/20 理事会	4/13合同夜間例会(前橋中央RCと)、4/24 IMホスト
前橋北	4	4/3・10・17・24 例会、4/3 理事会	4/17夜間例会
前橋南	4	4/5・12・19・26 例会、4/5 理事会	4/12緑化活動、4/19夜間例会
前橋中央	4	4/5・13・19・26 例会、4/5 理事会	4/13観桜夜間例会(前橋東RCと合同)
桐生	3	4/3・10・17 例会、4/10 定例理事会	
桐生南	3	4/5・12・26 例会、4/5 理事会	
桐生西	5	4/1・7・14・21・28 例会、4/14 定例理事会	4/1親睦日帰り旅行、4/7早期健康診断、4/28コンサート例会
桐生赤城	4	4/1・11・18・25 例会、4/11・14 理事会	4/11定例、4/14準備理事会
伊勢崎	4	4/5・12・19・26 例会、4/5 定例理事会	4/5・19・26(集会&Zoom)、4/12夜間例会
群馬境	4	4/6・13・20・27 例会、4/27 定例理事会	
伊勢崎中央	4	4/6・13・20・27 例会(集会&Zoom)、4/6・27 理事会	4/6定例、4/27臨時
伊勢崎南	3	4/4・11・18 例会、4/4 理事会	
伊勢崎東	3	4/3・10・17 例会、4/10 理事会	4/3夜間例会
高崎	3	4/3・10・24 例会、4/10 定例理事会	4/3花見例会
高崎南	3	4/4・11・18 例会、4/4 理事会	4/11新潟南RC・高崎セントラルRCと合同親睦夜間例会
高崎北	3	4/5・12・15 例会、4/5 定例理事会	4/12伊勢崎RC・前橋南RCと合同親睦夜間例会、4/15創立55周年記念式典
高崎東	4	4/6・13・20・27 例会、4/13 定例理事会	4/6観桜会
高崎シブオー	4	4/8・14・21・28 例会、4/14 定例理事会	4/8移動例会(友好クラブ 神戸東灘RCへ例会)
高崎セントラル	3	4/4・11・18 例会、4/18 定例理事会	4/4台北市華陽RCエルカム家族親睦例会、4/11新潟南RC・高崎南RCと合同親睦夜間例会
太田	4	4/6・13・20・27 例会、4/11・20 理事会	4/6移動例会(花見)、4/11臨時(書面)、4/20定例
太田西	2	4/5・26 例会、4/5 理事会	4/26夜間親睦例会
太田南	3	4/11・18・25 例会、4/11 理事会	4/11創立記念事業、4/25夜間例会
新田	3	4/5・19・26 例会、4/5 定例理事会	
太田中央	3	4/7・14・15 例会、4/14 定例理事会(集会&Zoom)	4/7・14(集会&Zoom)、4/15移動例会(浅草)
館林	4	4/7・14・22・28 例会、4/7・25 理事会	4/22創立65周年記念式典・祝賀会、4/7定例、4/25臨時、例会動画HPにアップ
大泉	2	4/5・19 例会、4/5 理事会	4/19夜間例会
館林西	3	4/2・11・25 例会、4/11 定例理事会	4/2早期清掃活動
館林東	4	4/5・12・17・26 例会、4/5 定例理事会	4/12第4分區10RC親睦チャリティゴルフ大会(ホスト)、4/17高田東RC(友好クラブ)と合同例会
館林メリアム	3	4/6・13・23 例会、4/13 定例理事会	4/6夜間例会、4/23奉仕活動(森の保全活動)
渋川	4	4/6・13・18・27 例会、4/6 理事会	4/18合同夜間例会(渋川みどりRCと)
沼田	4	4/4・11・18・25 例会、4/4 理事会	
草津温泉	2	4/5・18 例会	
中之条	4	4/4・11・18・21 例会、4/4 定例理事会	4/11さくら例会、4/21夜間例会
沼田中央	3	4/6・13・27 例会、4/6 理事会	
渋川みどり	4	4/4・11・18・25 例会、4/25 定例理事会	
富岡	4	4/1・12・19・26 例会、4/12 定例理事会	4/1創立60周年記念式典、4/19観桜夜間例会
藤岡	3	4/4・13・20 例会、4/13 定例理事会	4/4夜間例会、4/13・20(集会&Zoom)
安中	4	4/4・11・15・25 例会、4/4 定例理事会	4/4・11・25(集会&Zoom)、4/15観桜家族夜間例会
藤岡北	1	4/18 例会、4/4 理事会	
富岡中央	4	4/1・13・20・27 例会、4/13 定例理事会	4/1富岡RC創立60周年記念式典、4/20移動例会(坐禅例会)
碓氷安中	2	4/6・27 例会、4/6 理事会	
藤岡南	2	4/7・21 例会(集会&Zoom)、4/7 定例理事会(集会&Zoom)	
富岡かぶら	4	4/1・11・18・25 例会、4/11 理事会	4/1富岡RC創立60周年記念式典



第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 中里 公造 (川口モーニング)

間もなく新年度がスタートします。

新年度に入る準備として、クラブ活動(年度)計画書に記載のクラブ定款は、2022年度版のものになっているでしょうか？

2019年度版や2016年度版、さらにはそれ以前の古いクラブ定款のままになっているクラブはありませんか。またクラブ細則も新しい定款に添ったものに変更されているでしょう

か。クラブの委員会構成はクラブ細則に沿ったものになっているでしょうか。

クラブ定款・細則で、2022年の規定審議会で変更になった部分には、下線をいれておくと会員の皆さんも分かりやすいのではないのでしょうか。

クラブ細則は、クラブ独自のものでクラブの特徴を表しているのでしょうか。

また、毎年変更されているのでしょうか。

所在地域は、正しい表記になっていますか。以前の区域限界のままの表記になっていませんか。

さて、昨年度の2022年規定審議会では、人頭分担金の度重なる値上げが採択されました。また、日本から提案された事務総長に関する立法案が否決されましたが、それぞれの地区を代表する皆さんが集まって規定審議会で決めたことだから仕方がない、と端らから諦めていませんか？

クラブは規定審議会によって採択された立法案に対し、反対の意思表示をすることが出来ます。クラブからの有効投票のうち5%相当のクラブの反対票があった場合、採択された立法案の効力は一時保留となります。その後一時保留となった立法案に対しクラブとして賛否を投票し、反対票が過半数を超えた時は、規定審議会で採択された立法案は一時保留の日にさかのぼり無効となります。決して規定審議会の決定が最終ではないということです。

2022年の規定審議会の結果については8件の立法案について反対票がありました。「人頭分担金を増額する件」への反対票が一番多く402票でしたが、一時保留にするには2,632票が必要でしたので及びませんでした。

次の規定審議会は2025年です。どの様な立法案が採択されるか分かりませんが、規定審議会の決定におかしいと嘆く前に、クラブ内で検討しクラブとしての意思表示を出して見ませんか。



第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 井原 實（さいたま新都心）

2020年7月-23年6月の3年間第1地域のRPICを務めさせて頂きました。この原稿は5月に書いておりますので、任期は1カ月と少し残っております。

2020年の3月中旬にエバンストンにおいて開催予定の地域コーディネーター研修に参加する準備をしている時に、「RIはCOVID-19について万全の対策をしているので安心してシカゴに来て下さい」とのメールを受信し、数日後に中止のメールを受信するという劇的な変化を体験しました。国内では安倍総理がコロナ対策で小中学校の春休みを1週間前倒しにすると発表していた頃だったと思います。私と同期の第2地域の服部陽子 RPIC、服部良男 RRFC はエバンストンでの研修を受講すること無く、その任に着きました。

幸い、第3地域を担当しておられた山下皓三 RPIC が1年先行して RPIC を務めておられたので、山下リーダーを中心に Zoom を使ったオンライン会議で密に連絡をとりながら活動計画を練りました。

任期1年目は、3地域の各地区の公共イメージ委員長にアンケートをお願いした後、オンラインでの3地域合同での委員長セミナーを実施しました。RIの行動計画と公共イメージ向上、ロータリーのブランド、公共イメージ向上の例として世界ポリオデーなどについて説明しました。開催日の二日前の8月27日にWHOがアフリカでのポリオ根絶の宣言を発表しましたが、新聞記事の中に国際ロータリーの名前は一切出て来ませんでした。ロータリーのポリオ根絶活動については私達ロータリアンが一般の人々に伝える努力をしなければならない事を痛感しました。

任期2年目は、辰野 RI 理事（2022年当時）が日本経済新聞にロータリーの1面広告を掲載してロータリーの紹介をしようと提案され、10月22日の世界ポリオデーの直前に記事が掲載されました。また、日本の幾つかの地区が世界ポリオデーに向けて大きなイベントを実施して下さいました。

任期3年目は、佐藤 RI 理事が、日本の津々浦々で各ロータリークラブが世界ポリオデーに向けてのイベントを実施するよう推進しようと提案され、10月18日に日経の1面広告を掲載し、世界ポリオデーのフォトコンテストを実施しました。

任期中の3年間はコロナ禍の中でリアルでのセミナーが開催出来ず、担当地区の皆様と直接お話しする機会は少なかったですが、オンラインの会議を通じて各地域の公共イメージ委員長、ガバナー、ガバナーエレクトとの方々、そして各地域の ARPIC の方々と繋がり、沢山の支援を受けました。フォトコンテストにおいては、ジュニアフェローズ RI 会長、イアンライズリー R 財団管理委員長、佐藤 RI 理事、三木 R 財団管理委員に写真の選定をして頂くなど、大きなイベントに繋げることが出来ました。関係各位のご支援。ご協力に感謝申し上げますと共に、公共イメージ向上のご理解が進むことを願っております。



「世界でよいこと？」



第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 四宮 孝郎 (大阪西南)

たった 26 ドル 50 セントの寄付から始まった基金の設立。

1917年のアトランタ国際大会において RI 会長アーチ C.クラフ氏の「世界でよいことをしよう」との提案に、カンザスシティロータリークラブが呼応して拠出したものでした。

1928年に「ロータリー財団」と命名され現在でも発展し続けていますが、「世界でよいこと」をする大きな第一歩の財団プログラムは1947年の「国際理解を育む」ことを目的とした19名の各国からの学生に対する大学院留学の為の奨学金の提供でした。

その後、1978年より補助金プログラムとして3H (Health 保健・Hunger 飢餓追放・Humanity 人間性尊重) プログラムが創設され、現在のグローバル補助金へと繋がっています。

1985年から始まったポリオ根絶プログラムは世界中の子供たちの命を守る事ができ、大きな成果を上げていますが、全世界でポリオフリーが宣言されるまでロータリーの最優先事項であることはご承知のとおりです。

1999年には財団は「平和および紛争解決の分野における国際問題研究」の為にロータリーセンター (平和センター) の設立を果たしました。2002年の第一期生以降、多くのロータリー平和フェロー達が巣立って世界で活躍されています。

2013年から開始された DG (地区補助金)・GG (グローバル補助金) により財団のプログラムも大きく変わりましたが、2022-23年度では654件の GG・259件の災害救援補助金が「世界でよいこと」の為に活用されています。

直近のトルコ・シリア大地震などの自然大災害が世界各地で発生し、支援活動が様々な形で実施されています。ウクライナ問題に対する支援活動も今後ニーズに合ったものが求められ、継続して実施していかなければなりません。又、その他の紛争地域に対するロータリーとしてできる支援活動も求められています。

「女兒のエンパワーメント」「メンタルヘルス」に対する取り組みも始まっています。

ロータリー財団の歴史にあるように、その時に私たちに求められているものを把握して、ロータリアンである誇りと自信を胸に「世界でよいこと」を実現できるための種をこれからも皆様と共に蒔いてまいりましょう…

出席報告（4月末現在）・MyRotary登録率



クラブ数	年度初(女性)	当月初(女性)	新会員(女性)	退会数(女性)	月末数(女性)	純増減(女性)
45	2021 (160)	2041 (163)	16 (4)	8 (1)	2049 (166)	28 (6)
	自クラブ出席率		当月出席率(メイク含む)		MyRotary登録率(5月20日現在)	
	69.0%		76.9%		58.21%	

*純増減は年度初の会員数との対比となります。

クラブ名	回数	自クラブ出席率	会員数（純増減は年度初数との対比となります）						メイク	出席率	MyRotary登録率 (5月20日現在)	
			年度初(女性)	当月初(女性)	新会員(女性)	退会数(女性)	月末数(女性)	純増減(女性)				
第1分区	前橋	4	74.64%	116 (12)	115 (12)	1 (0)	1 (0)	115 (12)	-1 (0)	0	74.64%	77.78%
	前橋西	4	58.65%	61 (8)	64 (8)	0 (0)	0 (0)	64 (8)	3 (0)	29	70.03%	50.77%
	前橋東	4	80.87%	37 (6)	43 (7)	0 (0)	1 (1)	42 (6)	5 (0)	4	83.30%	61.90%
	前橋北	4	85.38%	74 (1)	78 (1)	0 (0)	0 (0)	78 (1)	4 (0)	0	85.38%	38.46%
	前橋南	4	80.66%	50 (5)	53 (6)	0 (0)	0 (0)	53 (6)	3 (1)	1	81.13%	46.30%
	前橋中央	4	73.69%	18 (4)	20 (4)	0 (0)	0 (0)	20 (4)	2 (0)	8	84.21%	50.00%
	合計		75.65%	356 (36)	373 (38)	1 (0)	2 (1)	372 (37)	16 (1)		79.78%	54.20%
第2分区A	桐生	3	69.49%	68 (11)	69 (9)	0 (0)	0 (0)	69 (9)	1 - (2)	13	75.79%	56.52%
	桐生南	3	64.66%	32 (3)	37 (4)	3 (1)	0 (0)	40 (5)	8 (2)	10	73.57%	62.50%
	桐生西	5	65.75%	50 (9)	51 (9)	0 (0)	0 (0)	51 (9)	1 (0)	31	78.87%	98.04%
	桐生赤城	3	72.57%	42 (8)	42 (7)	0 (0)	0 (0)	42 (7)	0 - (1)	25	89.02%	44.19%
	合計		68.12%	192 (31)	199 (29)	3 (1)	0 (0)	202 (30)	10 - (1)		79.31%	65.31%
第2分区B	伊勢崎	4	77.98%	75 (3)	77 (3)	0 (0)	0 (0)	77 (3)	2 (0)	15	83.17%	94.94%
	群馬境	4	82.61%	24 (2)	26 (2)	0 (0)	0 (0)	26 (2)	2 (0)	0	82.61%	30.77%
	伊勢崎中央	4	72.70%	92 (9)	93 (9)	1 (0)	0 (0)	94 (9)	2 (0)	21	76.97%	56.38%
	伊勢崎南	3	56.79%	28 (1)	27 (1)	0 (0)	0 (0)	27 (1)	-1 (0)	7	65.43%	66.67%
	伊勢崎東	3	82.86%	37 (2)	35 (3)	0 (0)	0 (0)	35 (3)	-2 (1)	3	82.86%	100.00%
	合計		74.59%	256 (17)	258 (18)	1 (0)	0 (0)	259 (18)	3 (1)		78.21%	69.75%
第3分区	高崎	3	62.72%	132 (10)	135 (11)	0 (0)	0 (0)	135 (11)	3 (1)	68	79.51%	44.78%
	高崎南	3	55.09%	70 (7)	72 (9)	0 (0)	0 (0)	72 (9)	2 (2)	1	55.56%	26.39%
	高崎北	3	52.38%	67 (0)	66 (0)	0 (0)	0 (0)	66 (0)	-1 (0)	17	61.38%	38.81%
	高崎東	4	63.89%	31 (2)	30 (2)	0 (0)	1 (0)	29 (2)	-2 (0)	3	66.67%	58.62%
	高崎シンフォニー	4	69.74%	45 (8)	45 (8)	1 (1)	0 (0)	46 (9)	1 (1)	9	74.70%	89.13%
	高崎セントラル	3	70.98%	33 (0)	32 (0)	0 (0)	1 (0)	31 (0)	-2 (0)	10	81.72%	19.35%
	合計		62.47%	378 (27)	380 (30)	1 (1)	2 (0)	379 (31)	1 (4)		69.92%	46.18%

出席報告（4月末現在）・MyRotary登録率



クラブ名	回数	自クラブ 出席率	会員数（純増減は年度初数との対比となります）						メイク	出席率	MyRotary 登録率 (5月20日現在)	
			年度初 (女性)	当月初 (女性)	新会員 (女性)	退会数 (女性)	月末数 (女性)	純増減 (女性)				
第4分区A	太田	4	47.26%	68 (1)	64 (1)	3 (0)	0 (0)	67 (1)	-1 (0)	6	49.60%	67.16%
	太田西	3	85.71%	14 (1)	14 (1)	0 (0)	0 (0)	14 (1)	0 (0)	2	100.00%	42.86%
	太田南	3	82.90%	45 (3)	45 (3)	0 (0)	0 (0)	45 (3)	0 (0)	0	82.90%	68.89%
	新田	3	64.13%	25 (3)	26 (3)	0 (0)	0 (0)	26 (3)	1 (0)	6	71.81%	30.77%
	太田中央	3	41.27%	42 (3)	42 (4)	0 (0)	0 (0)	42 (4)	0 (1)	10	49.21%	26.19%
	合計		64.25%	194 (11)	191 (12)	3 (0)	0 (0)	194 (12)	0 (1)		70.70%	47.17%
第4分区B	館林	4	79.82%	56 (2)	58 (2)	1 (1)	0 (0)	59 (3)	3 (1)	14	86.28%	44.07%
	大泉	2	62.16%	29 (3)	26 (3)	0 (0)	0 (0)	26 (3)	-3 (0)	8	95.55%	23.08%
	館林西	2	53.57%	16 (1)	14 (1)	0 (0)	0 (0)	14 (1)	-2 (0)	6	74.99%	21.43%
	館林東	4	88.09%	11 (2)	9 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (1)	-2 -(1)	2	93.65%	11.11%
	館林ミレニアム	3	67.12%	29 (2)	28 (2)	1 (0)	0 (0)	29 (2)	0 (0)	11	82.40%	100.00%
	合計		70.15%	141 (10)	135 (9)	2 (1)	0 (0)	137 (10)	-4 (0)		86.57%	39.94%
第5分区	渋川	4	75.98%	57 (3)	55 (3)	0 (0)	1 (0)	54 (3)	-3 (0)	23	87.26%	72.22%
	沼田	4	52.08%	66 (3)	72 (3)	0 (0)	0 (0)	72 (3)	6 (0)	65	72.73%	61.11%
	草津温泉	2	55.95%	17 (2)	13 (1)	0 (0)	0 (0)	13 (1)	-4 -(1)	0	55.95%	16.67%
	中之条	4	80.87%	20 (1)	22 (1)	0 (0)	0 (0)	22 (1)	2 (0)	0	80.87%	40.91%
	沼田中央	3	66.40%	45 (2)	43 (2)	0 (0)	0 (0)	43 (2)	-2 (0)	6	70.53%	100.00%
	渋川みどり	4	53.71%	43 (5)	44 (5)	0 (0)	0 (0)	44 (5)	1 (0)	18	63.60%	100.00%
	合計		64.17%	248 (16)	249 (15)	0 (0)	1 (0)	248 (15)	0 -(1)		71.82%	65.15%
第6分区	富岡	4	88.46%	41 (3)	41 (3)	1 (0)	1 (0)	41 (3)	0 (0)	6	92.55%	39.02%
	藤岡	3	71.97%	48 (3)	48 (3)	0 (0)	0 (0)	48 (3)	0 (0)	13	81.82%	85.42%
	安中	4	52.38%	61 (4)	64 (4)	2 (0)	2 (0)	64 (4)	3 (0)	15	58.33%	59.68%
	藤岡北	2	83.33%	10 (0)	8 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (0)	-2 (0)	0	83.33%	37.50%
	富岡中央	4	83.73%	38 (1)	36 (1)	1 (1)	0 (0)	37 (2)	-1 (1)	4	86.03%	45.95%
	碓氷安中	2	75.00%	8 (0)	8 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (0)	0 (0)	1	71.25%	50.00%
	藤岡南	2	52.95%	24 (0)	24 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (0)	0 (0)	7	73.53%	62.50%
	富岡かぶら	4	74.03%	26 (1)	27 (1)	1 (0)	0 (0)	28 (1)	2 (0)	17	84.61%	32.14%
	合計		72.73%	256 (12)	256 (12)	5 (1)	3 (0)	258 (13)	2 (1)		78.93%	51.53%

新会員紹介



氏名 平方 亨
クラブ 前橋西RC
入会日 2023年5月12日
職業分類 団体役員
勤務先 一般財団法人 群馬陸上競技協会
役職 会長
推薦者 関 智宏



氏名 飯島 正泰
クラブ 前橋南RC
入会日 2023年5月10日
職業分類 医療・介護
勤務先 有限会社 やまと
役職 取締役社長
推薦者 田嶋 宏樹



氏名 高橋 功二
クラブ 桐生赤城RC
入会日 2023年5月9日
職業分類 印刷業
勤務先 (株)フジプランニング
役職 代表取締役
推薦者 尾花 靖雄



氏名 服部 充
クラブ 伊勢崎中央RC
入会日 2023年4月6日
職業分類 団体生命保険
勤務先 日本生命相互会社 伊勢崎営業部
役職 営業部長
推薦者 吉田正人・牛久保 拓



氏名 遠藤 英嗣
クラブ 高崎北RC
入会日 2023年5月10日
職業分類 火災保険
勤務先 あいおいニッセイ同和損害保険㈱ 群馬支店
役職 支店長
推薦者 滝澤 政吉



氏名 吉井 弘子
クラブ 高崎シンフォニーRC
入会日 2023年4月21日
職業分類 家電総合卸業
勤務先 吉井電気(株)
役職 取締役会長
推薦者 堀口 芳明



氏名 木下 勝次
クラブ 太田RC
入会日 2023年4月27日
職業分類 生命保険
勤務先 第一生命保険(株)太田支社
役職 支社長
推薦者 石川 重政



氏名 坂井 義宣
クラブ 太田RC
入会日 2023年4月27日
職業分類 損害保険
勤務先 東京海上日動火災保険㈱太田支社
役職 支社長
推薦者 関口 知



氏名 茂木 雅弘
クラブ 太田RC
入会日 2023年4月27日
職業分類 保険
勤務先 明治安田生命保険(相)太田支社
役職 支社長
推薦者 竹内 正幸



氏名 藤田 春美
クラブ 館林RC
入会日 2023年4月1日
職業分類 労働者派遣事業
勤務先 (株)エイチ・アンド・エム
役職 代表取締役
推薦者 谷田川敏幸・小池和敏



氏名 矢野 勅仁
クラブ 富岡かぶらRC
入会日 2023年4月11日
職業分類 教育
勤務先 社会福祉法人 高太会 めびきの森かんら
役職 園長
推薦者 黒澤 秋彦



「ぶきっちょ」について

子どものころから「不器用」、「運動神経が悪い」、「どんくさい」などと言われて、人知れず悩んでいる人がいるかもしれません。「運動」は骨格や筋肉など躯体のことと思われがちですが、身体の動きをコントロールしているのは「脳」の「協調運動」と呼ばれる機能が関係しています。「見て」、「触って」、「物を認識して」、「位置を認識して」「その他いろいろな情報」を脳に入力して、それに基づいて体のいろいろな部位を動かそうと脳が企画して、各部の「動きの強さ」、「正確さ」、「タイミング」、「姿勢」など様々なことを、全体がうまく行くように「整えて」、「運動」を開始し、必要な時には「修正」を加えながら進行していく一連の「脳機能」なのです。

これらはスポーツに限らず、服を着たり、脱いだり、箸の使い方、物を落とさない、文字を書いたり、筆記具の使い方、楽器の操作、人にぶつからないなど日常生活のほとんどに関与する重要な「脳機能」の一つです。これら「協調」が極端に悪い場合の「発達性協調運動障害 Developmental Coordination Disorder [DCD]」という概念があります。「障害」なのです。これは乳児期、幼児期、小児期、青年期、成人期それぞれに見られます。子どもの頃の不器用さはいじめにあう危険があったり、自己肯定感が低くなったりマイナスの面が多く見受けられます。不器用な子ども（大人も）には心理面での支援が大切になります。「安心・安全で居ても良い場所」の提供が重要になります。不器用な子ども（大人も）運動が嫌い、或いは失敗するのが嫌なのでやらない人が多いようです。本当は上手になりたいけど失敗したり、笑われたりして余計に運動しなくなります。そこで大事になってくるのは、失敗しても守られていること（心や体が傷つかない）、「何度挑戦してもいいんだ」、「周囲から認められているんだ」と感じる事。「待ってくれたり」、少しでも進歩があったら「認めてくれる」学校で言えば教師や指導的立場の人間、大人社会では仲間、上司がいること、いろいろな人間がいていいんだと理解してくれる人たちがいること。多様性を認めてくれる環境にあることが、不器用な人たちには救いであり、大切なことなのです。

まさにDEI（Diversity多様性・Equity公平さ・Inclusionインクルージョン）です。

編集後記

あっ、という間に桜の春が過ぎ去り、花桃や連翹も過ぎ、各地で藤の花が咲き誇っています。それに合わせるかのようによく早くも5月に猛暑日が出るようになってしまいました。編集子が小学校のころ、気温が30度を超えると午後には授業は中止になったように記憶しています。30度というのは最早日常の気温になったようです。

気候がおかしくなったにしても5月に猛暑日では躰がもちません。

今年度のガバナー月信の表紙は各分区の花にしよう、と中野ガバナーの指示があり、県内8分区の自分で勝手に決めた花園に出掛けて行きました。

新聞やスマホでチェックすると、県内至る所花が咲いています。

中之条ガーデンズのような素晴らしい花園や、小河川の堤防にも花がいっぱいでした。

実に楽しい一年間でした。このような機会を与えてくださいました中野ガバナーに感謝です。

そんなわけで、中野ガバナー月信の最後の表紙は藤岡市の「ふじの咲く丘」の藤の花にしました。二度表紙にした分区もありますが、取り敢えず全8分区での花を表紙にすることが出来ました。ありがとうございました。

話は全く変わりますが、編集子の好きな詩人に「立原道造」がいます。この詩人は1930年代に二十代半ばで夭折しましたが、編集子にとっては一番の人です。

中学校か高校の教科書で習った一篇の詩の記憶が蘇ってきました。

中野ガバナーの許可はいただいておりますがここで紹介させていただきます（月信の私的流用になります）。

「草に寝て…… 六月の或る日曜日に」

それは 花にへりどられた 高原の
林のなかの草地であった 小鳥らの
楽しい唄をくりかへす 美しい聲が
まどろんだ耳のそばに きこえてみた

私たちは 山のあちらに
青く 光ってゐる空を
淡く ながれてゆく雲を
ながめてみた 言葉すくなく

—— しあはせは どこにある？
山のあちらの あの青い空に そして
その下の ちひさな 見知らない村に

私たちの 心は あたゝ、かだった
山は 優しく 陽にてらされてみた
希望と夢と 小鳥と花と 私たちの友だちだった

立原道造はこのようなロマンチックな詩をつくって、そして二十代で亡くなってしまったのです。

このような詩を知るきっかけが国語の教科書だったので

です。
編集子の勝手気ままな編集後記に最後まで目を通していただき、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

ガバナー事務所よりお願い

ガバナー月信に関して

- 原稿の締め切りは、毎月15日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付し中野正美ガバナー事務所 nakano@rid2840.jp まで送信してください。なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。
- 新会員情報並びに訃報の締め切りは、毎月15日です。（15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。）新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に250字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。

ガバナー事務所に関して

- ガバナー事務所の開所時間は従前どおり午前10時から午後5時となっておりますのでよろしくお願いいたします。尚、原則として正午から午後1時までには昼休みとなっております。

月信への寄稿のお願い

- 毎月1日に発刊しているガバナー月信ですが、是非とも第2840地区の各クラブで行われた奉仕事業やクラブの自慢などを、月信に寄稿してみませんか？

原稿締め切りは毎月15日になります。原稿を15日以前にガバナー事務所宛にメールしていただければ翌月号に掲載させていただきます。



中野正美ガバナー事務所

群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F

TEL 027-212-2840

FAX 027-212-2841